

令和7年度 ビッグデータを活用した地域経済動向調査

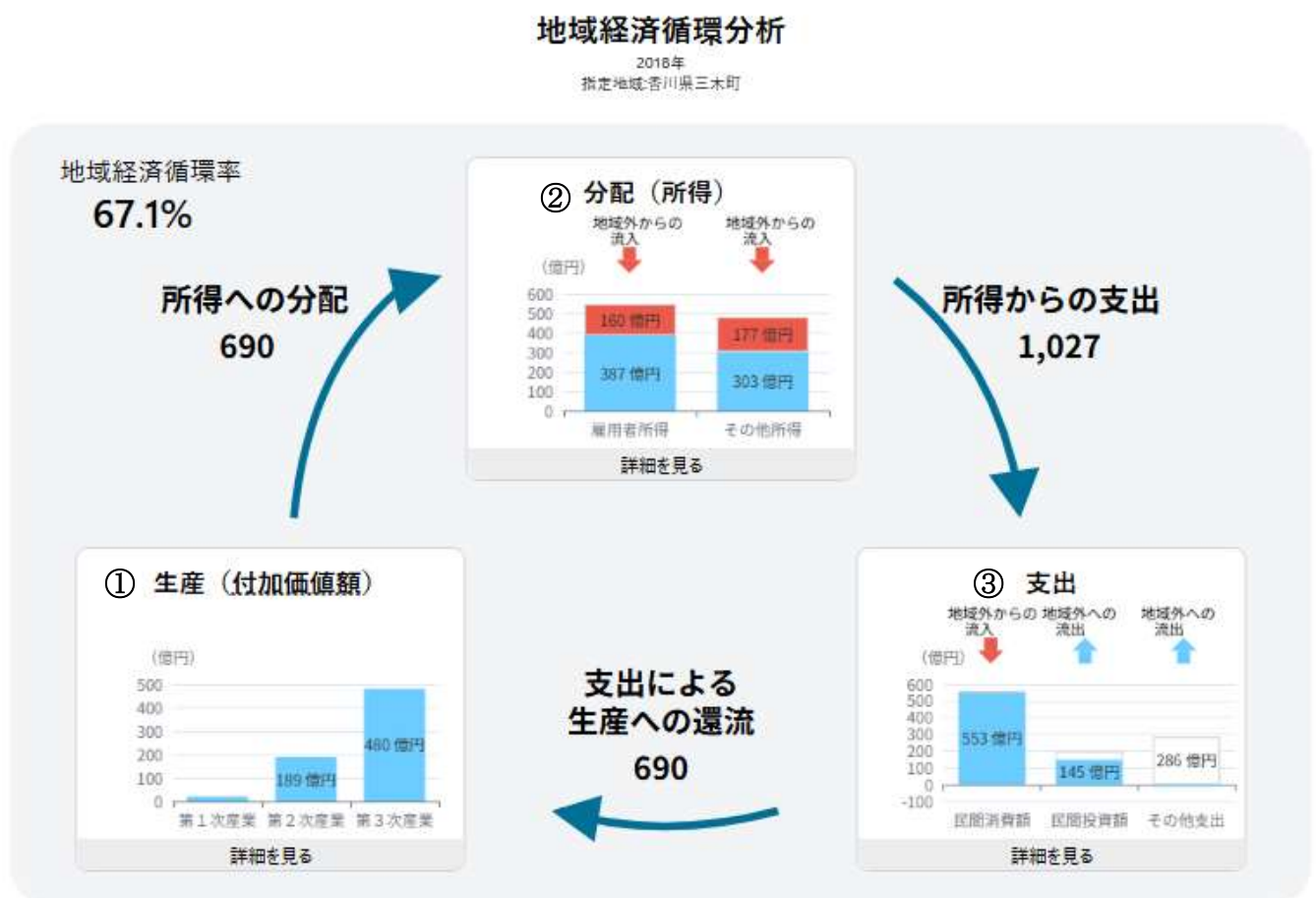
三木町商工会

～はじめに～

本調査では、RESAS（地域経済分析システム <https://resas.go.jp/>）を活用して、三木町の情報を収集し、分析します。RESASは、地域経済に関するビッグデータを地図上やグラフで見える化できる政府のシステムです。

1. 地域経済循環分析

地域内企業の経済活動を通じて生産された付加価値は、労働者や企業の所得として分配され、消費や投資として支出されて、再び地域内企業に還流します。当町におけるこの流れを示したものが下の図です。



①生産（付加価値額）

「生産（付加価値額）」は、地域が生産した商品やサービス等の販売額から仕入や外注費等の費用を差し引いた額で、地域の稼ぎの総額を示しています。総額は690億円であり、第3次産業が最も大きく480億円、続いて第2次産業が189億円、第1次産業が20億円となっています。

②分配（所得）

「分配（所得）」では、地域産業が稼いだ付加価値が、どのように所得分配されたのかを見ることができます。「分配（所得）」は、雇用者に支払われた「雇用者所得」と、財産所得、企業所得、交付税、社会保障給付、補助金等、雇用者所得以外の「その他所得」で構成されます。各棒グラフは、地域内の住民・企業等に分配された所得の総額を示しています。地域内の住民・企業等が稼ぐ所得より、地域の産業が分配する所得が少ない場合は、その差額が赤色で表示され、地域外から所得が流入していることを意味します。所得総額は、1,027 億円で、町外からの流入があるので生産（付加価値額）総額を上回っています。「雇用者所得」は547 億円で、その内、160 億円が町外から流入しています。「その他所得」は、480 億円で、その内、177 億円が町外から流入しています。

③支出

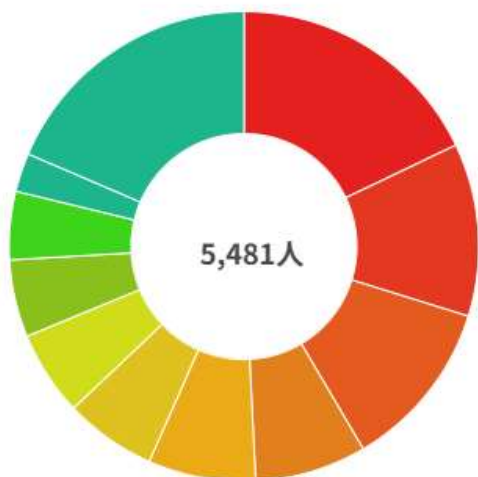
「支出」では、地域内の住民・企業等に分配された所得がどのように使われたかを把握することができます。「支出」は、住民の消費等を示す「民間消費額」、企業の設備投資等を示す「民間投資額」、政府支出、地域内産業の移輸出入収支額等を示す「その他支出」で構成されます。各棒グラフは、地域内で消費・投資された金額を示しています。地域内の住民・企業等が支出した金額より、地域内に支出された金額が少ない場合は、その差額がグラフでは空白の四角で表示され、支出が地域外に流出していることを意味します。支出総額は、690 億円となっており、町外への流出があるため地域内の住民・企業等に分配された所得総額を下回っています。

2. From-to 分析（宿泊者）

下の図は、当町における居住都道府県別の延べ宿泊者数（日本人）の構成割合を示したグラフです。大阪府が17.9%と最も多く、東京都が11.9%、兵庫県が11.73%と続きます。

居住都道府県別の延べ宿泊者数（日本人）の構成割合

2023年 香川県 三木町



- 1位 大阪府 981人 (17.90%)
- 2位 東京都 652人 (11.90%)
- 3位 兵庫県 643人 (11.73%)
- 4位 香川県 421人 (7.68%)
- 5位 千葉県 406人 (7.41%)
- 6位 神奈川県 346人 (6.31%)
- 7位 愛知県 320人 (5.84%)
- 8位 埼玉県 292人 (5.33%)
- 9位 愛媛県 257人 (4.69%)
- 10位 京都府 146人 (2.66%)
- その他 1,017人 (18.56%)

3. 産業構造分析

下の図は、当町における業種別の売上高を示したグラフです。総額は82,633百万円となっており、産業別では卸売業・小売業が29,933百万円（36.2%）と最も多く、続いて製造業18,839百万円（22.8%）、建設業15,930百万円（19.3%）、医療・福祉8,079百万円（9.8%）、農林漁業2,164百万円（2.6%）の順になっています。

